

# デイサービスきずなにおける、PT・OT・STの役割

## デイサービスきずなは、専任の「理学療法士」が常勤

理学療法士が、ご利用者様お一人おひとりの最も大切な基本動作能力(座る、立つ、歩くなど)の回復や維持、および障害の悪化の予防に向けたプログラムを行います。デイサービスきずな豊平では、リハビリを単なる機能回復ではなく「人間らしく生きる権利の回復」と捉え、専任の理学療法士を常勤させています。

## 「作業療法士」「言語聴覚士」も巡回し、リハビリをサポート

デイサービスきずなには、在宅を支援するサービスとして、主に生活日常活動(食事、更衣、排泄、入浴など)を訓練する作業療法士が巡回します。その守備範囲は幅広く、指先の機能から認知機能の回復までを含んでいます。レクリエーション・創作活動等を通じ、心のリハビリまでをも行い、生きがいを再構築することを目的とします。

また、言語聴覚士の役割は、人が生きるための最も大切な機能である食べる(嚥下・咀嚼)ための機能と、人と人との思いを伝え合い、生きる喜びを持ち続けるための「話す」「聴く」機能を維持・回復させることです。

これら3分野のリハビリの専門家が協力し合い、介護・看護の施設スタッフと共に、ご入居者様が人生の最後まで、可能な限り自立した日常生活を営み、人間としての尊厳を全うできるよう支えて参ります。

※作業療法士と言語聴覚士は、それぞれ週2日の勤務となります。

高齢者の主な生活困難事例	理学療法士 Physical Therapist	作業療法士 Occupational Therapist	言語聴覚士 Speech Therapist	具体的なリハビリと対処の内容
起き上がれず寝たきりのまま	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋肉や関節を動かす運動</li> <li>・立つ、歩く、座る等の日常生活の練習</li> <li>・保存療法(徒手、運動)を用いた痛みの軽減</li> <li>・褥瘡、拘縮を防止する体位交換やポジショニングの提案、等</li> </ul>
座位が保てない	◎	○		
立ち続けることができない	◎	○		
歩行することができない	◎	○		
着替えの動作をすることができない	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活日常動作の訓練、代替動作(利き手交換、自助具、援助用具の利用等)の紹介、練習</li> <li>・レクリエーション(軽スポーツ)、創作活動(工芸、絵画、編み物)等を手段として用いたリハビリ訓練</li> <li>・学習療法</li> <li>・生きがいをに向けた働きかけ、等</li> </ul>
入浴・トイレの動作ができない	○	◎		
調理作業や、食事の動作ができない	○	◎	○	
持久力・集中力・注意力に欠ける	○	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>【目的】日常生活に必要な動作能力の維持向上</li> </ul>
障害に起因する対人関係の欠如	○	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声を作る舌、唇や発声・発語器官の運動</li> <li>・発声障害、聴覚障害により生じるコミュニケーション能力の低下を補う意思伝達の手段の指導</li> <li>・咀嚼、飲み込みの筋力の訓練、飲み込みのタイミングの訓練、異物吐きだしと咳をする訓練、等</li> </ul>
言語・発声・発音がうまくできない			◎	
話が理解できない、文字が読めない			◎	
食べる機能(摂食・嚥下)の衰え			◎	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>【目的】対人関係を構築するコミュニケーション能力の向上</li> <li>嚥下機能・発声発語を含む口腔機能の維持向上</li> </ul>

